

1. 開催日時：平成23年1月31日（月）10：00～10：40

2. 会 場：総合福祉保健センター4階研修室

3. 出席者：①委員 13名

高橋会長、菅野副会長、石田副会長、石川委員、古瀬委員、  
片平委員、遠藤委員、有山委員、藤田委員、川崎委員、  
豊田委員、奥野委員、河合委員

②事務局 3名

松澤クリーン推進課長、吉松、里見

4. 会議

議事録署名人の選出：名簿順により川崎委員、豊田委員を選出  
会長を議長として議事進行。

(1) 推薦団体表彰について

事務局より表彰概要・推薦者内容について、別紙要領及び表彰推薦調書のと  
おり説明。

→被表彰者について、異議なく承認される。

事務局より表彰式(案)について、「時期は3月開催とすること・感謝状につい  
ては別紙(案)のとおりとすること・記念品を額とすること」を提示。

→異議なく承認される。

その他質疑について

委員：個人表彰については、例えば推進団体の活動の中で、とりわけ熱心  
に活動を行っている個人についても表彰対象になるのか。

事務局：推薦があれば、当協議会で検討することになります。

その際には、同一の清掃美化活動を対象に、団体と個人双方を表彰  
することになりますので、それが可能かどうか、表彰要領第6も踏  
まえながら考えていくことになろうかと思えます。

(2) その他

事務局より、①路上喫煙等禁止推進地区指定後のポイ捨て状況の報告、②「煙  
のでない無煙タバコ」について、の2点説明を行った。

①7月17日に路上喫煙等禁止推進地区が指定された後のタバコのポイ捨て状況  
について下記の通り報告。

## 記

推進地区指定前 : 1日平均400~500本

指定後の7~12月: 1日平均300本超

7月から9月までのポイ捨て数が1日平均300本前後であったが、指定後の6ヶ月経過した現在でも1日平均300本超であり、引き続き指定前に比べてポイ捨ては減少している。

推進地区の指定がタバコのポイ捨てごみの減少に寄与しているものと考えている旨説明。

→質疑なく終了。

②JT(日本たばこ産業)より「煙の出ない無煙タバコ」は推進地区内でも喫煙できるのかとの問合せがあり、意見が分かれると思われるため現在は喫煙してよいとの回答は見合わせている旨状況説明。

委員 : 無煙タバコは受動喫煙の影響はないのか。

事務局: JTによれば受動喫煙の影響はないようですが、現在その根拠となるデータの提示を求めている状況です。

→無煙タバコの問題について共通認識を持ち、次回以降の会議で検討していく方向でまとめ、終了。

その他特になく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

平成23年 2月 2日

氏名 川崎 幸子 \_\_\_\_\_

氏名 豊田 朋二 \_\_\_\_\_